

大阪府大学生等若者への食費支援事業

フリップ①

- ◆ 物価高騰の影響が長期化する中、子育て世帯に準じて強く影響を受ける若者を支援するために、大学生年齢（19歳～22歳）の若者に税込7,000円相当（送料を含む）のお米PAYおおさか（お米クーポン）またはその他食料品を給付。
- ◆ **令和7年9月16日（火）9時00分**から申請受付開始。

（1）対象者

平成15年4月2日から平成19年4月1日までに生まれた若者のうち次の①か②のいずれかに該当する者
（対象者数：約36.7万人）

- ① 申請日において大阪府に居所を有している方
- ② 申請日において大阪府に居所を有していることに準じる方（※）
（※）週末や年末年始・夏休み等の長期休暇も含め、
一定期間（概ね年間1カ月半程度）等、大阪府内の実家等で生活を送る方

（2）申請受付期間

令和7年9月16日（火）9時00分から**12月16日（火）23時59分**まで

（3）給付物品の申込期限

令和8年2月14日（土）まで



大阪府 若者 食費支援



本事業に関するお問合せ：大阪府大学生等若者食費支援事業コールセンター

TEL: 0120-265-095 【開設時間】9時00分から18時00分まで（日祝日を除く）

＜申請期間終了後は平日のみ＞

- ◆ 府では、万博開催を契機に、世界の先頭に立ちSDGs達成に貢献する「SDGs先進都市」の実現に向けた取組みを推進
- ◆ SDGsの達成に向け、国内外の先進的なSDGsアクションを共有し、2030年以降のSDGsの先（SDGs+beyond）について議論を深める機会となる「OSAKA JAPAN SDGs Forum」を万博会場で開催

フォーラム概要

日 時: 令和7年9月5日(金) 13時00分～17時30分
 会 場: EXPOホール「シャインハット」(定員1,300名)
 コンセプト: 「みんなの智恵をつなげて、世界を変えよう」
 ※入場無料(ただし、万博会場への入場チケットが必要)



基調講演



国連事務総長の任命を受けた世界で15人の独立科学者(※)の1人、蟹江 憲史教授が、SDGsを取り巻く最新の情報やbeyond2030について講演。

慶應義塾大学大学院
教授 蟹江 憲史氏

(※)国連が4年ごとに出版するSDGsに関する評価報告書の執筆メンバー

特別講演



Schneider Electric Japan
カンツリープレジデント
青柳 亮子氏

米TIME誌等の「世界で最も持続可能な企業(※)」において、2年連続世界1位のシュナイダーエレクトリック青柳 亮子氏による講演が決定。

(※)世界約5,700社を対象に環境・社会・ガバナンス(ESG)等の20以上の指標で評価

多彩なプログラム

<オープニング>

- ・プロダンサーが、障がいのある方を含む約70名とダンスパフォーマンスを披露
- ・知事挨拶、国連機関等による来賓挨拶



撮影: 富田了平

<パネルディスカッション>

金融、小売、メーカー等、様々な業界の企業が登壇し、それぞれの立場や視点から、「パートナーシップ」をテーマに議論を展開。公民連携や共創のヒントをお届け。



盲導犬の普及に取り組む
演歌歌手
中村美律子さん登場!



<総合司会>
フリーアナウンサー
八木早希さん

SDGsへの理解を深め、具体的な行動に向けた気付きが見つかる機会です。ぜひご参加ください。
 お申込みはフォーラムの専用サイトまたは、「EXPO2025デジタルチケットサイト(8/5～)」から。

詳細・申込はこちら

大阪 SDGsフォーラム



- ◆ 府では、適切な時期に性や健康に関する正しい知識を持ち、妊娠・出産を含めたライフデザインや将来の健康を考えて健康管理を行うプレコンセプションケア（プレコン）を推進
- ◆ 今年度、女性を対象とした講座の開催、AMH検査や卵子凍結等への助成試行事業を創設
- ◆ 若い女性の方にプレコンについて知っていただく講座の申し込みの受付を本日15時から開始

事業の概要

プレコン講座 (オンライン・1時間半程度)

- ・対象：18～39歳の女性
- ・内容：女性の健康行動
身体の仕組み
卵子凍結のメリット・デメリット
経験談 等
※受講後アンケートへの回答が必要
- ・定員：各回200名
- ・申込：オンラインで受付

第1回の講座は、
8月27日（水）19時から開催。

講座申込



※令和7年度は2月まで
月2回開催予定
※要件等の詳細については、
HPをご確認ください。

※AMH検査費助成 【1人1万円まで】

- ※卵巣に残っている卵子の数の
目安を測定する血液検査
- ・対象：講座受講者
- ・時期：講座と同一年度

○ **早発卵巣不全患者の方**
(18歳未満の方も対象)

医療機関の診断書

令和7年7月10日
以降の診断が対象

検査値が
 1.0 ng/mL
以下

卵子凍結費助成 【1人20万円まで】

- ・対象：～39歳の未婚女性
- ・保管料：2万円/年助成
※保管料は、試行期間である
令和11年度までの5年間で
助成の対象

留意点

本事業の対象となるAMH検査、卵子凍結、生殖補助医療は、
府HPに掲載の医療機関で実施されたものに限りま。

生殖補助医療費助成 【1回25万円まで】

- ・対象：～42歳の既婚女性
- ・回数：～39歳 6回
40～42歳 3回



助成や医療機関等に関する
詳細はこちらをご確認ください